

<保育士>

Q. いろんな保育園がある中でなぜ公立（津市）にしたのですか？

A. （職員A）

異動があり、いろんな人と関わることができること、また、今年はコロナウイルスのためありませんでしたが、地域の人たちとも交流ができることなどから公立を選びました。

（職員B）

津市の研修では、他の市と違って私立の先生とも交流があっいろいろな人と関わることができ、いろんな考えを共有できることから津市を選びました。

Q. 子どもたちの自主性をどうやって大切にしていますか？

A. 保育士だけで行事の内容を決めるのではなく、子どもたちにアンケートをとったりしながら進めています。

Q. 幼稚園教諭で採用されてもこども園に配属になることはありますか？

A. あります。こども園には幼稚園教諭も保育士も勤務しています。

Q. こども園と保育園の違いは何ですか？

A. 乳児クラスは保育園もこども園もほとんど違いはないと感じています。幼児クラスは1号認定児と2号認定児が同じクラスで過ごしています。1号認定児の降園時間までのコアタイムでは1号認定児も2号認定児も同じカリキュラムの基で活動をしています。1号認定児の降園時には子どもを送り出す職員と2号認定児の保育をする職員に分かれ、連携をとりながら子どもたちが安心して過ごせるよう配慮しながら保育を行っています。

Q. 津市以外の他市の採用試験は受けなかったのですか？

A. 私の場合は津市の採用試験だけ受けました。正規職員としての採用でなくても津市の臨時職員（現在の会計年度任用職員）として働きながら採用試験を受けようと考えていたからです。実際に臨時職員として働きながら採用試験を受けて正規職員になった方や、育休代替任期付職員として働いている方もたくさんいます。臨時職員として働くことで正規職員の働き方を学ぶことができ、正規職員として働くようになった時にも自分の力になると思います。

＜幼稚園教諭＞

Q. 津市の幼稚園で働こうと思ったきっかけはどんなことですか？

A. 学生時代、自宅から離れて暮らしていた時に、地元のよさや温かさを感じたことや、もともと子どもが好きであったことなどがきっかけです。自分のできることで、地元に貢献していきたいと思いました。

Q. やりがいはどんなことですか？

A. 子どもの成長を感じた時です。発表会終了後などはそれぞれの子どもや、クラス全体としての1年間の成長を感じ、幼稚園教諭として仕事を続けている喜びを感じます。

Q. つらかったことはどんなことですか？

A. 外国につながる幼児とのかかわりで、母語で一生懸命伝えてくれていることがわからず申し訳ない気持ちになったことがありました。また保護者対応でも、その子の育ちなどを通してのやりとりの中で共通の思いが持てない時にもつらさを感じます。でも、その後分かり合えた時の嬉しさはひとしおです。

Q. 今のうちにしておいた方がいいと思われることはどんなことですか？

A. 採用されると、4月から担任として働くことになると思いますので、手遊びや遊びなど、保育の中ですぐに生かせるようなものを身につけておくとうよいと思います。私自身はピアノが苦手でしたので、もっとピアノの練習をしておけばよかったと思いました。また、駅から遠い園もありますので、運転免許もあると便利かと思います。

Q. 子どもがいない時間はどんなことをしていますか？

A. 子どもが帰った後はまず保育室を掃除し、その日の子ども達の活動を思い起こしながら次の日の保育の環境を整えます。その後は、連絡ノートやその日の記録を書いたり、教材研究をしたりします。日によっては、職員会議や園内研修などで園運営や子ども理解のために話し合ったり、園外研修に出ていたりすることもあります。

Q. すぐに担任として働くことや、自分より年上の保護者の方に質問をされることなど不安に感じますが、どのように対応すればよいですか？

A. 幼稚園は同僚性が高い職場です。協力して子ども達を育てていこうという風土もあります。また、保護者は担任に知識を求めているのではなく、誠実さや温かさを見ていると思いますので、丁寧なかかわりが大切です。わからないことは「園長先生に聞いてみますので、少し待ってください」と答えていただければ大丈夫です。

Q. 通勤時間はどのぐらいかかりますか？

A. 津市内在住であれば、遠くて30分程度かと思われれます。ただし、渋滞などでそれ以上かかることもあります。

Q. 子どもがいると休みをとれないように思いますが、大丈夫ですか？

A. 大丈夫です。実際には園長先生やフリーの先生に保育に入ってもらっています。協力し合っていこうとする風土がありますので、体調の悪いときなどはまずはご自分の体を大切にしてください。

Q. 子どもが主体的に学んでいくためには、どのようにかかわっていくことが大切ですか？

A. まずは一緒に遊んだり、じっくりと寄り添ったりする中で、その子自身を理解することが大切です。その上で、その子の思いや発達にあった言葉かけや支援をしていくことが必要です。

Q. 特別な支援を要する子どもについて興味があります。施設との交流や研修の機会がありますか？

A. 津市内には津市児童発達支援センターやその他の療育の施設などがあります。実際に幼稚園に在籍しセンターへ通所している方もありますので、子どもを通してやりとりをしたり、施設を見学させてもらったりしています。また関係機関の専門の先生の話の聞いたり、実際の幼児の様子を見ていただき、その子の関わり方について学んだりする機会もあります。また公立幼稚園全体での研修会や小中合同、幼保合同の研修会など、県内外の講師の先生からのお話を聞く機会もあります。

<技能員（調理員）>

Q. 調理員の年齢の割合はどうなっていますか？

A. 正規職員は20代～50代まで、会計年度任用職員は60代の方もいらっしゃいます。比率は各世代まんべんなくいるイメージです。

Q. 1日のスケジュールはどんな感じですか？

A. 私が勤務している学校では、午前8時から仕事が始まります。

野菜の下処理から始まり、野菜切り、食器だし、牛乳数えなどの調理の準備をし、内容にもよりますが、午前10時頃から調理を開始します。午前11時半から配缶し、午後0時半過ぎに片付けが終わり、お昼休憩を挟みます。

午後は食器、食缶、トンブやお玉を洗い、明日の準備をして午後4時頃を目安に終わり、午後4時45分まで書類仕事をしています。勿論、学校によって違いますが、流れは一緒です。

保育園の場合、食べる時間が早いので、0～2歳の給食は午前10時半頃に完成している園もあります。午後はおやつ準備があります。

Q. 保育園と小学校の違いは？

A. 保育園はおやつがあること、汁以外はお皿に1人分ずつ配膳するなどの特徴がありますが、学校では食缶にクラス分入れて子どもたちが配膳します。食材のサイズも保育園はスプーンより大きくなならないように小さめになっています。

アレルギーに関しては、学校は除去できる物のみの対応が多く、栄養士がどこまでできるか考え、指示してくれます(例えば、仕上げに入れる牛乳を抜く、最後に入れるツナを抜く、など。)

Q. 職場の雰囲気はどうですか？

A. 私の職場は雰囲気が良いと思っています。

仕事の時と休憩の時のオン、オフがしっかりしており、仕事でわからないことは聞けますし、プライベートで悩んでいることなどを相談される方もいらっしゃいます。

Q. 希望の休みは取れますか？

A. 職場の上司に伝えると取得できます。勿論、余りにも職場の方と重なった場合は要相談ですが、あまりありません。自分が休んだ代わりに勤務していただく方を上司が手配してくれます。